



本当の“協働”とは？

市民協働推進アドバイザー会議

11月21日、市民協働推進アドバイザー会議が盛岡市役所で開かれました。

8月22日に続く第2回目の会議で、本年度内の策定を目指している盛岡市民協働推進指針の素案についてご意見をいただきました。

市民協働の基本理念を「盛岡が盛岡らしく在り続けるために、さまざまな主体が積極的にまちづくりに参画する“市民協働”を推進します」とし、各主体の「自主性・自律性の尊重」「対等・相互理解」「情報の共有」を3原則として掲げたことなどの内容について市が説明した後に意見を交換。アドバイザーの皆さんからは「テーマに掲げる「盛岡らしさ」が漠然としているのではないか」、「“協働”といってもNPOと市との考えがすごく違っているのではないか」、「団体だけでなく、市民一人ひとり



を意識しないと本当の“協働”にはならない。個人の自覚を前提に協働に取り組むべきではないか」などのご意見をいただきました。

次回のアドバイザー会議は来年2月の開催を予定しています。



浅沼道成さん

（もりおかNPO連絡協議会会長・岩手大学人文社会科学部教授）

倉原宗孝さん

（岩手県立大学総合政策学部教授）

林晶子さん

（盛岡商工会議所女性会会長）

晴山貞美さん

（盛岡市町内会連合会会長）

平賀圭子さん

（特定非営利活動法人 参画プランニング・いわて理事長）

[城南地区]

史跡等マップの プロジェクト始動

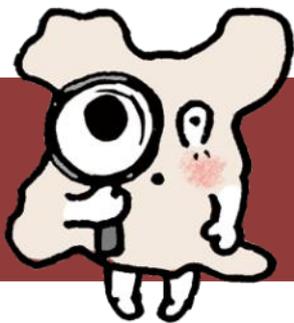
城南地区地域づくり委員会は、「史跡等のマップ作りのための総合調査」プロジェクトを始動させました。11月26日に開催されたプロジェクトチーム会議では、「住民が観光客にガイドできるマップを」「地域住民ならではのエピソードを」などと白熱した議論を展開。今後、調査方法などの検討を進めていくことにしています。

[渋民地区]

全8回の 啄木講座が終了

渋民地区自治会連絡協議会が本年度取り組んできた「啄木をもっと知ろう!『啄木講座』」が11月13日に最終回を迎えました。

「石川啄木と自然を活かした里づくり」の一環として取り組んできた講座は全8回で延べ150人以上の皆さんが受講。講座を通じて深めた「啄木」への理解を礎に、新たな展開を目指します。



地域協働 各地区の“いま”に注目!

[つなぎ地区]

ワークショップ終え まとめへ加速

つなぎ地区振興福祉推進協議会は、11月11日に地域づくり計画策定に向けた第2回目となるワークショップを開催。およそ30人の皆さんが活発に意見を出し合いました。

つなぎ地区では、10月と11月に開催したワークショップの結果のまとめの作業に入り、来年3月までに地域づくり計画としてまとめる予定です。

[松園地区]

計画策定から 事業実施のステージへ

松園地区自治協議会は、本年度進めてきた地域づくり計画の策定事業がまもなく完了する見通しとなりました。「松園、いいよね!」を松園地区の地域づくりの合言葉とし、5つの分野ごとに将来像を定めました。現在、計画策定の完了と計画に基づいた事業実施という次のステージに向けた作業を進めています。

ねっとでも
支援室…?



プラザおでって1階にある「もりおか市民活動支援室」では、「もりおか市民活動支援室通信」や「町内会・自治会のかわら版」の広報紙だけでなく、インターネットでも情報を発信しています。

- ホームページ <http://www.iding.org/sien/>
- メールニュース 定期的に電子メールで様々な情報をお届けします。
- Facebook, Twitterでも情報発信しています。